

宮城県感染症発生動向調査情報

平成30年2月22日発行

－ 2018.2.12～ 2018.2.18 － 第7週－

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							仙台市 患者数	宮 城 県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第4週	第5週	第6週	第7週
水痘	1 0.20	3 0.30	2 0.40	2 1.00				6 0.22	14 0.24	172		○	レ	
流行性耳下腺炎									0 0.00	21				
感染性胃腸炎	15 3.00	13 1.30	12 2.40	13 6.50	11 3.67	7 1.40		112 4.15	183 3.10	1,673	◎	◎	◎	◎
手足口病	2 0.40			4 2.00				5 0.19	11 0.19	98				
伝染性紅斑	2 0.40			3 1.50				1 0.04	6 0.10	19				
突発性発しん	2 0.40	1 0.10	3 0.60	1 0.50	1 0.33	4 0.80		10 0.37	22 0.37	148		レ		
ヘルパンギーナ		1 0.10							1 0.02	8				
インフルエンザ	426 53.25	420 28.00	246 30.75	26 8.67	199 39.80	255 31.88	129 32.25	1,295 29.43	2,996 31.54	23,563	◎	◎	◎	◎
咽頭結膜熱	1 0.20	2 0.20	2 0.40	1 0.50			2 0.40	5 0.19	13 0.22	116				
流行性角結膜炎		1 0.33					3 3.00		4 0.33	25				
急性出血性結膜炎									0 0.00	1				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	26 5.20	35 3.50	10 2.00	8 4.00	4 1.33	26 5.20	1 0.50	54 2.00	164 2.78	1,224	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	0				
無菌性髄膜炎									0 0.00	0				
マイコプラズマ肺炎				2 2.00					2 0.17	25				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症	3 0.60		3 0.60	1 0.50		3 0.60		18 0.67	28 0.47	239	○	レ	レ	○
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	3				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	1		1	1		1	1						
	川崎病	2												
	不明発しん症								4					

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意
○: 発生または流行について、今後の情報に留意
レ: 発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 29例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(患者(確定例))

塩釜管内 女性2名

仙台管内 女性2名

結核(無症状病原体保有者)

仙台管内 男性1名、女児1名※

3類感染症: 報告なし

4類感染症: つつが虫病

仙台管内 男性1名(第1週)

5類感染症: 梅毒

仙台管内 男性1名(第6週)

※女児は6歳未満

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

インフルエンザ患者より

石巻管内 第6週採取分 インフルエンザウイルスB型 1件

塩釜管内 第6週採取分 インフルエンザウイルスB型 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定	中 間 報 告	
	第4週採取分 (1.22～1.28)	第5週採取分 (1.29～2.4)	第6週採取分 (2.5～2.11)
インフルエンザウイルスA(H1)pdm09	7件	6件	7件
インフルエンザウイルスA(H3)型	1件	2件	11件
インフルエンザウイルスB型(山形系統)	13件	19件	21件
インフルエンザウイルスB型(ヒクリア系統)	1件	0件	0件
RSウイルス	2件	1件	2件
ヒトメタニューモウイルス	1件	1件	0件
アデノウイルス	0件	2件	0件

* インフルエンザウイルスB型(山形系統)が多く分離されています。

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[インフルエンザ]

仙南、塩釜、大崎、登米、石巻、気仙沼、仙台管内
で警報継続中

[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]

石巻管内で警報継続中

4. 今週のコメント

【インフルエンザ】

患者報告数は、第5週をピークに2週連続で減少傾向を示しましたが、栗原管内を除く7保健所管内で定点あたりの患者数が警報継続基準値の10人を超えていますので、引き続き警戒が必要です。

急な発熱、悪寒などインフルエンザ感染が疑われる症状がある場合は、早期に医療機関を受診しましょう。咳やくしゃみの症状がある時は、他の人への感染を防ぐためマスクを着用するなどの「咳エチケット」を行うことも大切です。感染予防のために、うがいや手洗いの励行、加湿器の使用、不要不急の外出を避けるなど積極的な対策を行いましょう。

宮城県定点週報告対象疾病の推移

